旭川市報道依頼

各報道機関　様

発表日	平成３０年８月３０日
発信課	文化振興課
担当者	佐藤
連絡先	電　話　内線　８－６３２９
	ＦＡＸ
	E-mail

分　　類	イベント･行事　　募集　　契約･入札　　会議･説明会　　その他 （該当する分類を囲むこと。）
日　　程	１０月　６日(土)
発表項目 （行事名）	文学講座
概　　要 （趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。）	第１回文学講座 趣　旨：市民に広く文学に親しむ機会を提供することを目的として、旭川工業高等専門学校教授、石本裕之氏をお招きし、文学講座を開催いたします。 演　題　小説「結婚記念日」について ―　井上靖短編集『愛』から 日　時　平成３０年１０月６日（土）午後１時３０分から午後３時まで 場　所　井上靖記念館ラウンジ（旭川市春光５条７丁目） 定　員　５０名（事前予約が必要） 参加料　無料 申込み　電話（0166－51 - 1188）またはＦＡＸ(0166－52－1740)
添付資料	有　・　無　　チラシ （有・無のいずれかを囲むこと。） ※　有の場合，資料の内容を記入すること。なお，別途冊子等の配付を希望する場合は，その旨記入すること。
報道（取材）に当たってのお願い	その他詳細については，井上靖記念館にお問合せください。 電話　51－1188　FAX　52－1740 担当　上田
備　　考	

井上靖記念館文学講座

小説「結婚記念日」について

― 井上靖短編集『愛』から

富士山と芦ノ湖

おそらく自分は今後何年経っても、新しく妻を迎えるという気持ちにならないのではないかと思っている。それは亡き妻の加奈子に対する愛情のようなものである。愛情と言わないで愛情のようなものと言うのは、彼自身はっきりと、これが愛情だとは思いきれぬふしがあるからである。実際考えてみると、加奈子との五年ばかりの生活を振り返って、自分は大して加奈子を愛していたとは思わない。どちらかと言えば、お喋りで負けず嫌いの加奈子の性格は、春吉にはうっとうしく感じられることの方が多かった。

井上靖「結婚記念日」より

平成 30 年 10 月 6 日(土)

場　所：井上靖記念館ラウンジ

時　間：午後1時30分より3時まで

講　師：国立旭川工業高等専門学校教授 石本　裕之 氏

参加料：無　料　　定　員: 50人

申　込：電話で当館まで

井上靖記念館

指定管理者 特定非営利活動法人 旭川文学資料友の会
〒070－0875 旭川市春光５条７丁目
Tel 0166－51－1188 / Fax 0166－52－1740

≪講師プロフィール≫

石　本 裕　之

Hiroyuki　Ishimoto

国立旭川工業高等専門学校教授。公益財団法人北海道文学館評議員。
昭和 33（1958）年、北海道札幌市生れ。屯田兵の子孫。
北海道大学文学部卒業、北海道大学大学院文学研究科修士課程修了。中国哲学専攻。
学部在学時、北大文芸部部長（第三代）、同人誌『春楡』発行人。
日本中国学会、宮沢賢治学会、全国漢文教育学会、北海道中国哲学会等に所属。
主著は、『論語の思想史』（汲古書院・共著）、『荘子の中の孔子』（響文社）、『宮沢賢治　イーハトーブ札幌駅』（響文社）。
平成 20～29 年（第 41～50 回）、小熊秀雄賞選考委員。平成 21～26 年、旭川井上靖記念館運営協議会委員（平成 24～26 年会長）、同館・文学講座にて井上靖作品に関する講演（平成 19 年～）。三浦綾子文学賞（平成 26 年）一次選考員の一人。
平成 28 年（第 58 号）から『旭川市民文芸』（旭川文化団体協議会）詩部門の選考を担当。

井上靖記念館での文学講座（平成 24 年以降）

平成 24 年　「一枚の絵」の中の父母―子としての井上靖

平成 25 年　井上靖『孔子』と『論語』―孔子と弟子たちとのつながり

平成 26 年　『ある偽作家の生涯』を読む―人間や運命に対する井上靖のものの見方について

平成 27 年　井上作品と中島敦『山月記』

平成 28 年　井上靖の最後の短篇集『石濤』から二編―井上文学、老境の対話

平成 29 年　井上靖における、生きることと歴史―短編「生きる」から